

◆
「ダブル吸水ゴム™」の採用で氷上性能を21%アップ

「GEOLANDAR I/T G072」新発売

横浜ゴム(株)(社長：富永靖雄)は、4×4・SUV用スタッドレスタイヤ「GEOLANDAR I/T G072(ジオランダー・アイティ・ジーゼロナナニ)」を9月中旬から順次発売する。発売サイズは、LTサイズを含む275/60R18 112Q～205/70R15 95Qの全25サイズで、価格はオープンプライス。

「GEOLANDAR I/T G072」は、タイヤのトータルパフォーマンスを高次元で維持しながら、スタッドレスタイヤに最も求められる氷上性能の飛躍的な向上をめざして開発した。コンパウンドには、乗用車用スタッドレスタイヤ「アイスガード」の「ダブル吸水ゴム™」を高荷重・高重心の4×4・SUV専用アレンジして採用した。「ダブル吸水ゴム™」は、氷上スリップの原因であるミクロの水膜を強力に除去するため、従来品(I/Tプラス)に比べ氷上性能が21%向上した。トレッドパターンには、優れた直進性と耐横滑り性を発揮する「4+2(フォー・ツー)グループ」、高荷重時でも高いタイヤ剛性を確保する「ピラミッドサイプ」と「パワーエッジブロック」、排水性の向上に貢献する「逆V字グループ」などを配置した新デザインを採用。溝面積比率の拡大と広い路面接地面積の確保を可能にした新開発「マルチフラットプロファイル」とあいまって、優れた氷上・雪上性能の両立を実現したほか、ドライ・ウェットグリップ、耐磨耗性、静粛性などは従来品と同等以上に確保した。



横浜ゴム株式会社 広報部広報グループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

◆
THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430

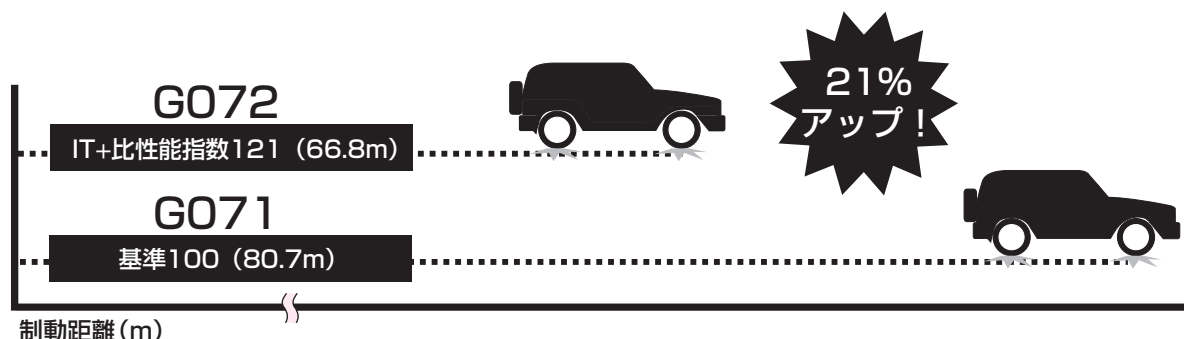
「GEOLANDAR I/T G072」の主な特長

■ 2 倍の吸水力で氷上性能を 21% 向上した「ダブル吸水ゴム™」

「ダブル吸水ゴム™」は、乗用車用スタッドレスタイヤ「ガーデックスK2」シリーズの「吸水バルーン（気泡）」に、新素材「吸水カーボン」をブレンドしたコンパウンド。昨年発売した乗用車用スタッドレスタイヤ「アイスガード」で初めて商品化した。路面と接すると割れ、バルーン内に水膜を吸引する「吸水バルーン」と層状構造の空洞が表面張力の原理を利用して水を吸い上げる「吸水カーボン」のダブル吸水により、氷上スリップの原因であるミクロの水膜を強力に除去するため、氷上性能が従来品（I/Tプラス）に比べ21%向上した。

また、バルーン自体が剛性力を持つ「吸水バルーン」は、ブロックの倒れ込みを防ぎ、操縦安定性の向上にも貢献する。さらに、横浜ゴム独自の「シリカ+ゼルマ（シリカ分散剤）」が低温下でも優れた氷上グリップを発揮するほか、「MBポリマー」が氷着に最適なゴムの柔らかさを長期間にわたって確保する。

＜氷上性能比較テスト＞



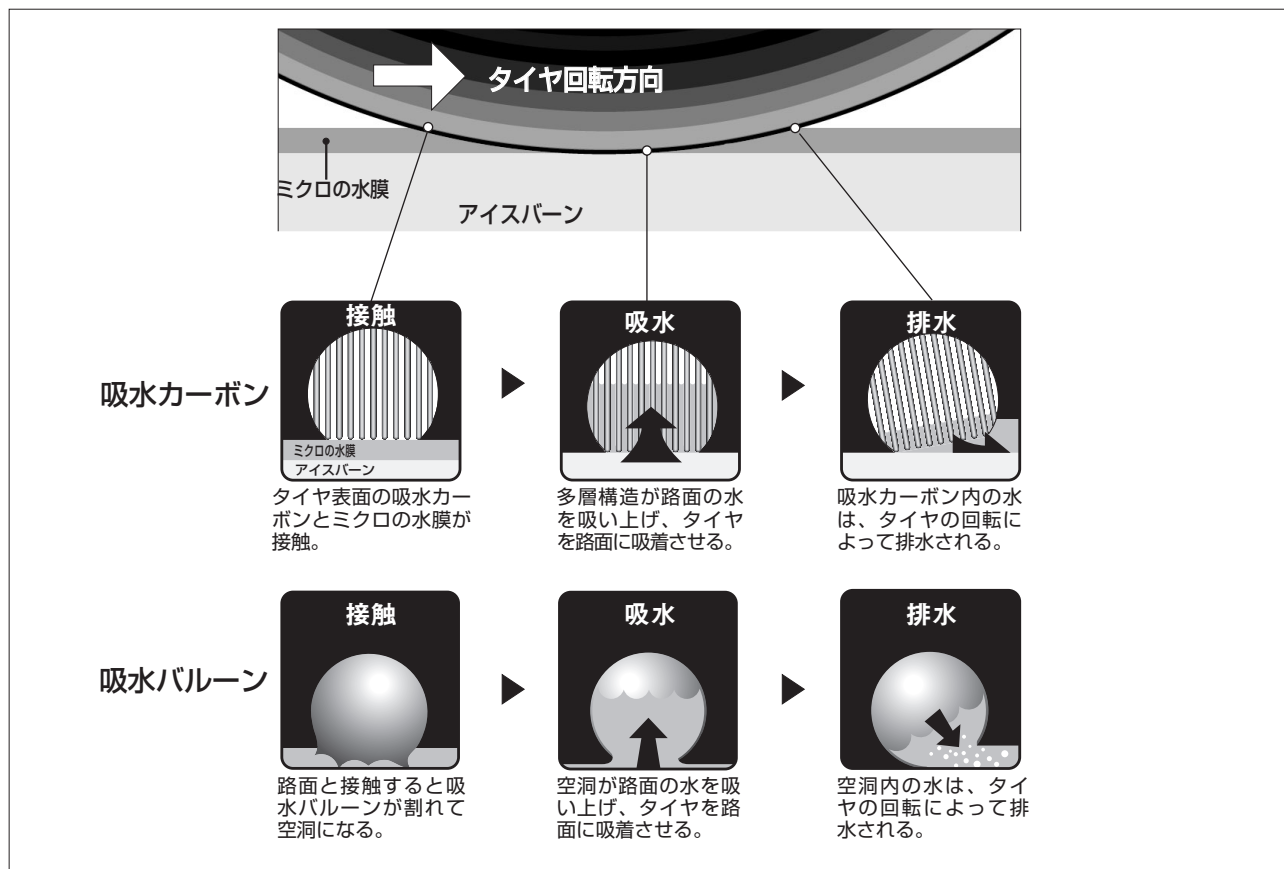
＜試験条件＞

テスト場所：横浜ゴムテストコース(T*MARY) テスト年月：2003年2月9日 テスト車両：ランドクルーザーブロード 制動方式：ABS制動
タイヤサイズ：265/70R16 112Q 装着リム：16×7JJ タイヤ空気圧：200kPa 路面：氷盤路 路面状況：つるつる凍結路面
制動初速度：40km/h 気温：-7.5℃~-5.5℃ 氷温：-5.8℃~-5.3℃ 乗車人数：1名

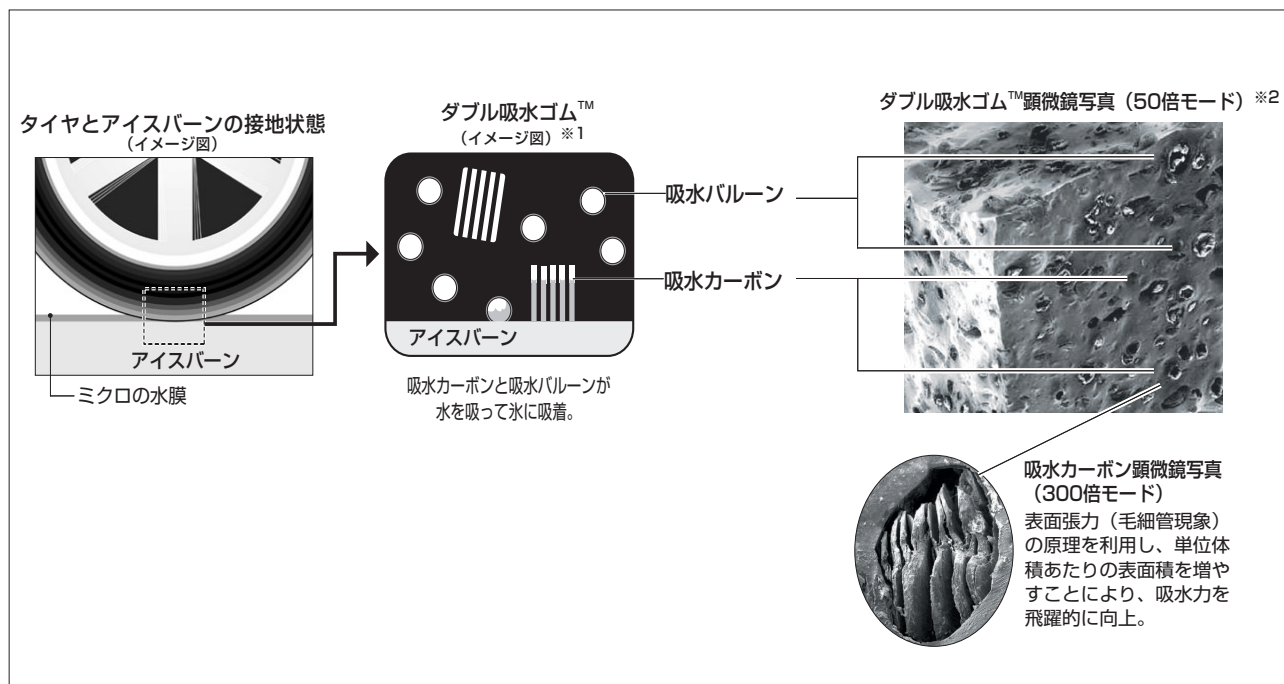
※テストに関する詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

※記載した数値はあくまでも一定の条件で測定されたものです。その数値は車両の性能、気温、路面状況等により変わり、普遍的なものではありません。よって異なる条件下の数値とは比較できませんのでご了承ください。

「吸水カーボン」と「吸水バルーン」の除水イメージ



「ダブル吸水ゴム™」の仕組み



※1：吸水カーボン・吸水バルーンは、新品時から表面に露出しているため、すぐに効果を発揮します。

※2：写真は一例であり、密度が異なる場合があります。

※：吸水バルーンの最大直径は約 100 μ m、吸水カーボンの最大幅は約 300 μ m。

■優れた氷上・雪上性能を両立した「マルチフラットプロファイル」

雪上性能を向上させるにはタイヤ溝比率を拡大する必要がある。また、氷上性能の向上には、広い路面接地面積が求められる。「マルチフラットプロファイル」は溝面積比率を高めながら、広い路面接地面積と接地圧の均一化を実現した新プロファイル。優れた氷上・雪上性能の両立を実現し、さらに十分なわだち乗り越え性能を発揮する。

■横方向への安定性を高めた「4+2（フォー・ツー）グループ」

4本のメイングループに2本のサブグループを施した「4+2グループ」の採用により直進性を向上。また、氷上・雪上路面における様々な路面コンディションでの横滑りを抑制し操縦安定性を高めた。

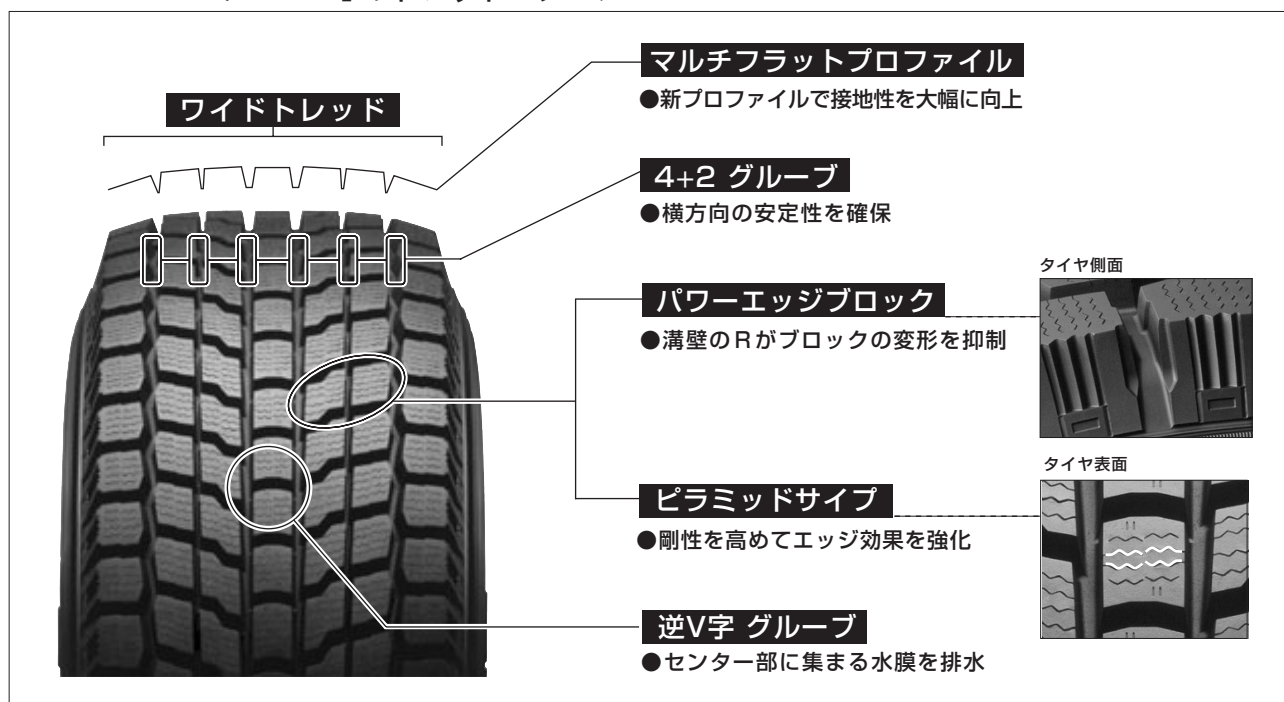
■タイヤ剛性を強化した「パワーエッジブロック」と「ピラミッドサイプ」

タイヤの回転方向に対する溝壁を緩やかな曲面にした「パワーエッジブロック」が走行時のブロックエッジの変形を抑制。接地面積をしっかりと確保するとともに耐偏摩耗性も高めた。また、立体化したサイプ同士を支え合うように配置した「ピラミッドサイプ」は、高荷重時でもブロックの倒れ込みを防ぎ、制動・駆動時に路面との接地面を十分に確保する。立体化することでサイプの吸水効果も高めた。

■排水性の向上に貢献する「逆V字グループ」

ウェット制動時にタイヤセンター部に集まる水膜は、タイヤのグリップ力を低下させる原因となる。センターブロックのラグ溝（細溝）に配した「逆V字グループ」は、制動時にセンター部に集まる水膜をメイングループにすばやく移動。排水効果を高めグリップ力の持続に貢献する。

「GEOLANDAR I/T G072」のトレッドパターン



「GEOLANDAR I/T G072」の発売サイズ

偏平率 55～60サイズ	発売月	偏平率 65サイズ	発売月	偏平率 70サイズ	発売月	偏平率 80サイズ	発売月	偏平率 85サイズ	発売月
235/55R18 99Q	11月	225/65R17 101Q	11月	215/70R16 99Q	9月	175/80R16 91Q	10月	185/85R16 105/103L LT	12月
255/55R18 109Q	10月	235/65R17 104Q	12月	245/70R16 107Q	11月	175/80R15 90Q			
255/60R18 112Q	11月	245/65R17 107Q		265/70R16 112Q	9月	195/80R15 96Q			
275/60R18 112Q		265/65R17 112Q	11月	275/70R16 114Q	10月	215/80R15 101Q			
215/60R16 95Q		275/65R17 114Q		205/70R15 95Q		225/80R15 105Q			
		215/65R16 98Q	10月	215/70R15 98Q	12月				
				225/70R15 100Q	10月				
				265/70R15 110Q					

ご掲載時の読者のお問い合わせ先

タイヤお客様相談室

TEL：0120-667-520（フリーダイヤル）

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江 新谷

TEL：03-5400-4531 FAX：03-3432-8430